

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/09/19号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所)Refinitivよりマーケットエッジ作成

## 90ドル突破、IEAも大規模な供給不足見通しを示す

NY原油先物相場は、1バレル=90ドル台まで値上がりし、昨年11月8日以来の高値を更新する展開になった。国際原油需給のひっ迫見通しが強く、買い優勢の展開が続いている。サウジアラビアとロシアの供給調整が年末まで続く方針が示されているが、それによって国際原油需給のひっ迫化、在庫の取り崩しが進むとの見方が原油相場を押し上げた。90ドルの節目も抵抗線として機能せず、上値追いの展開が維持された。

9月12日に石油輸出国機構（OPEC）月報が公表されたが、仮にOPECの産油水準が8月から変化しない場合、7～9月期に日量178万バレル、10～12月期には326万バレル、それぞれ供給不足が発生する計算になる。また、13日に国際エネルギー機関（IEA）月報が公表されたが、年末に向けて著しい供給不足が発生するとの見通しが示されている。国際原油需給のひっ迫化に対する信頼感が強まる中、期近限月主導の上昇地合が維持された。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（9月8日時点）は、原油が前週比396万バレル増、ガソリンが556万バレル増、石油精製品が393万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 需給ひっ迫化が続く、90ドル台定着から一段高を打診

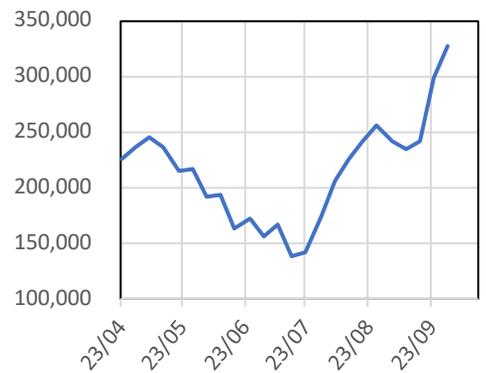
国際原油需給のひっ迫見通しが強く、上昇地合が維持される見通し。短期的な過熱感が強いため持高調整の売りも膨らみやすいが、押し目は早めに買い拾われる可能性が高い。サウジアラビアとロシアの追加供給削減策が年末まで続くことが決まり、少なくとも年内の原油需給ひっ迫化が確実視されている。大規模な在庫の取り崩しが予想されており、期近限月主導の上昇トレンドが維持される可能性が高い。

急ピッチな原油高に対して、消費国は十分な対抗カードを有していない。米国では昨年に戦略石油備蓄（SPR）の大規模な放出を行ったばかりであり、更にSPR放出が可能なのかは不透明感が強い。米国とサウジアラビアとの関係性悪化を受けて、米国の減産停止や増産要請にサウジアラビアが応える可能性も低い。消費国がどこまでの原油高に耐えられるのか、産油国がどこまでの原油高を望むのかが注目されるが、90ドル水準が高値限界とは評価されていない。

ブレント原油は足元の94ドル台から100ドルまで上昇するといった予想も増え始めており、WTI原油についても90ドル台に乗せたものの目標達成感は弱い。次は、昨秋にダブルトップを形成している94ドル水準、そして95ドルの節目が打診されよう。

イベントリスクとしては、19～20日の米連邦公開市場委員会（FOMC）後のドルや株価動向に注意が必要。追加利上げの可能性を完全に排除することはない見通しであり、ハト派ではないとの評価が重視されると、資産価格全体に下振れリスクが高まる。また、引き続き中国経済リスクの蒸し返しには注意が求められる。

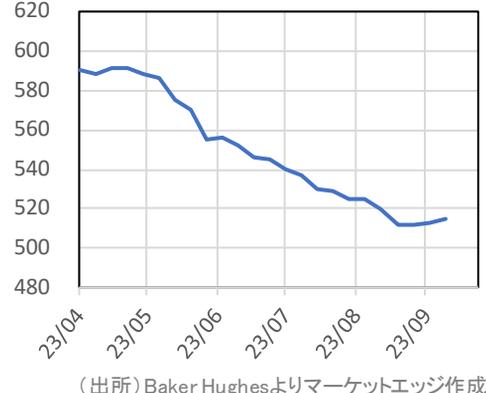
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

